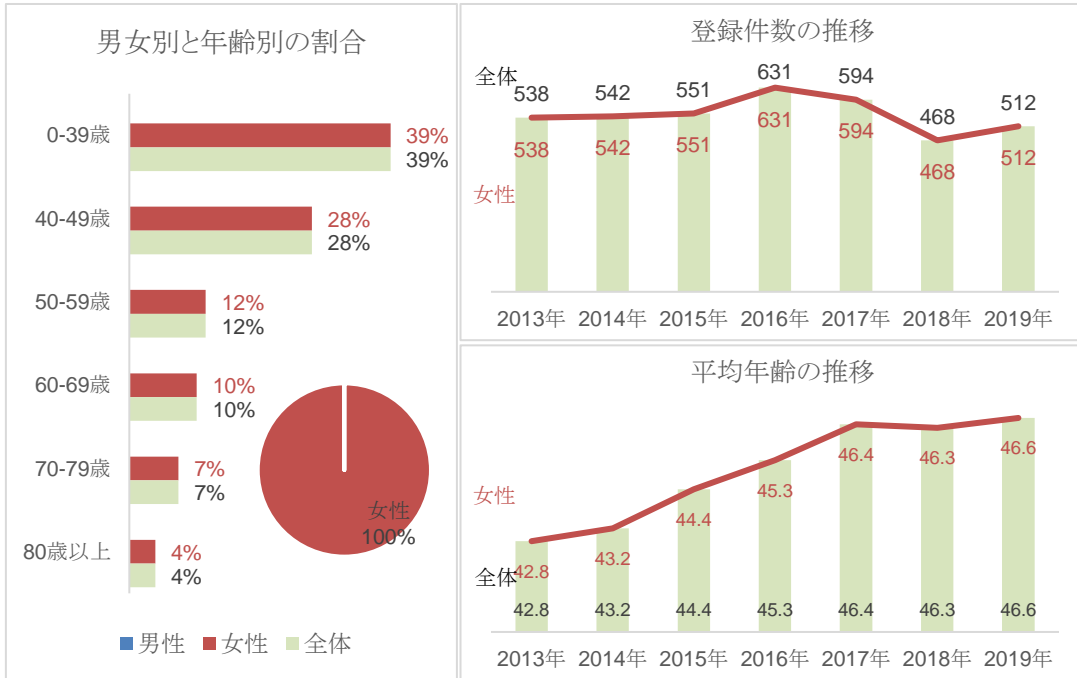


● 1 診断 ●

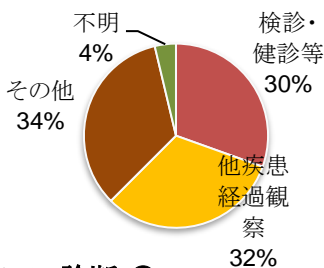
● 1-1 登録状況 ●

診断時の平均年齢は46歳ですが、40歳未満が約4割と多く占めています。



◆ 1-1 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2013-2019年診断
▶症例区分8,80除く
(付録資料:表A-13)
(付録資料:表B-11)
(付録資料:表C-11)
(付録資料:表D-11)

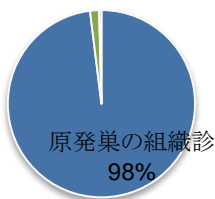
● 1-2 がんが発見される経緯 ●



集計対象の512件のうち、30%ががん検診や健康診断などで発見されています。

◆ 1-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表F-11)

● 1-3 診断 ●



◆ 1-3 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表G-11)

● 1-4 詳細部位 ●

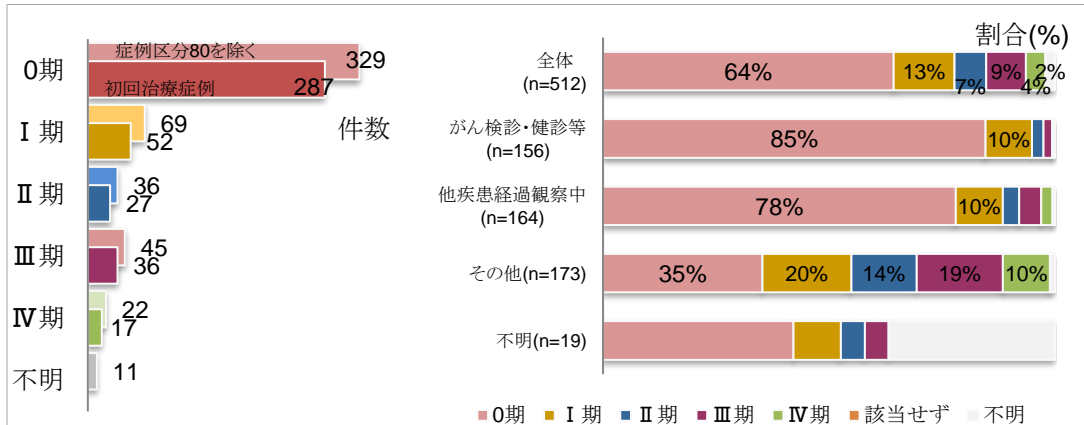
*院内がん登録では、原則としてC53.9 を用います。

局在コード	部位名	登録数
C53.0	内頸部	1~3
C53.1	外頸部	4~6
C53.8	頸部境界部	0
C53.9	頸部詳細不明	506

◆ 1-4 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く

● 1-5 病期(総合ステージ) ●

病期分類の対象となった512件のうち、0期が最も多く64%です。発見経緯別の病期の割合は、「がん検診・健診等」「他疾患経過観察中」では0期が約8割を占めます。



◆ 1-5 資料

院内がん登録
総合ステージ別
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表W-3)
(付録資料:表W-4)
(付録資料:表H-11)

● 2 治療 ●

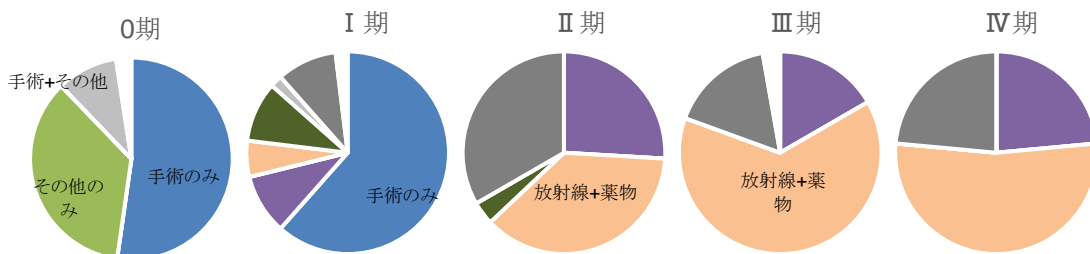
● 2-1 子宮頸がんの治療 ●

ステージ別の主な治療法は、0期では手術のみ(52%)とレーザー治療を含むその他の治療のみ(36%)、I期では手術のみ(62%)です。II期からIV期では、放射線のみや放射線+薬物療法の割合が多いです。

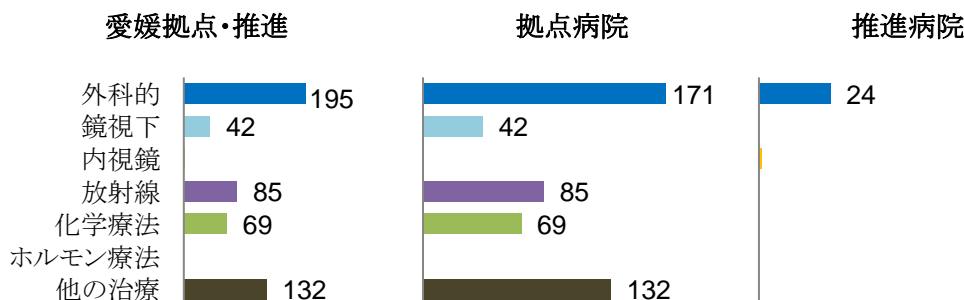
	stage0		stage I		stage II		stage III		stage IV	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
手術のみ	150	52%	32	62%	0	0%	0	0%	0	0%
放射線のみ	0	0%	4~6	(5%)	7~9	(17%)	4~6	(13%)	4~6	(14%)
その他のみ	102	36%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
放射線+薬物	0	0%	1~3	(3%)	10	37%	23	64%	7~9	(33%)
手術+薬物	0	0%	4~6	(11%)	1~3	(15%)	0	0%	0	0%
手術+その他	28	10%	1~3	(0%)	0	0%	0	0%	0	0%
上記以外の組合せ	1~3		4~6		7~9		4~6		4~6	
治療なし	4~6	(8%)	1~3	(3%)	0	0%	1~3	(4%)	0	0%
合計	287		52		27		36		17	

◆ 2-1 資料

院内がん登録
総合ステージ別
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表W-5)



● 2-2 各治療の件数 ●



◆ 2-2 資料

院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表W-6)

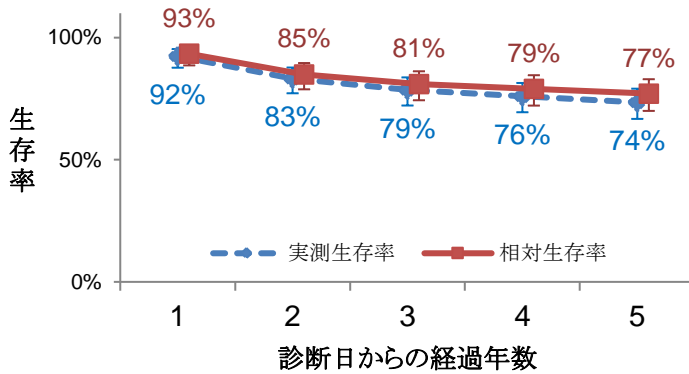
● 3 予後 ●

● 3-1 5年相対生存率 ●

2012年と2013年に診断された症例の5年生存率は、実測生存率73.5% (95%信頼区間 66.7 - 79.1)、相対生存率77.1% (95%信頼区間 70.0 - 83.0)でした。集計対象数は197、年齢別では40歳未満が18%、40歳代25%、50歳代11%、60歳代18%、70歳代15%、80歳以上13%でした。ステージ別の内訳では0期を集計対象外としているため、I期47%、II期14%、III期19%、IV期19%となっています。

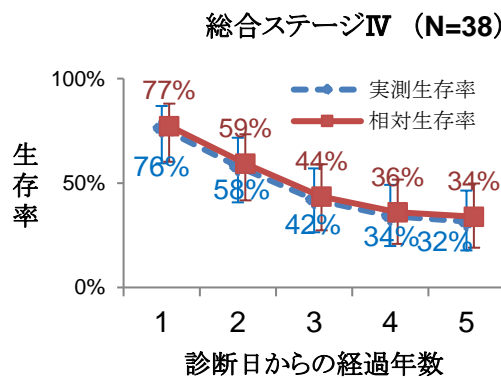
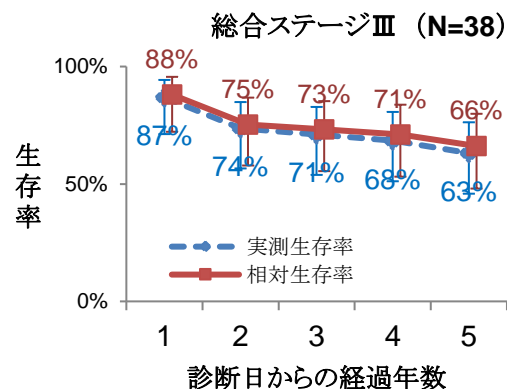
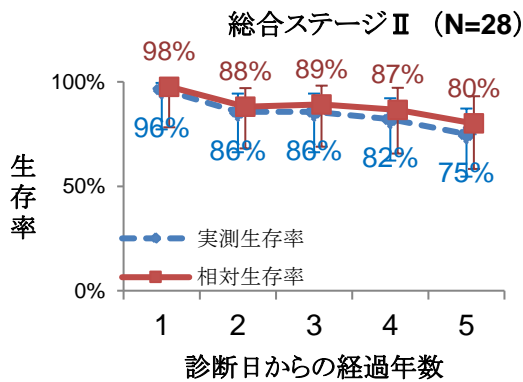
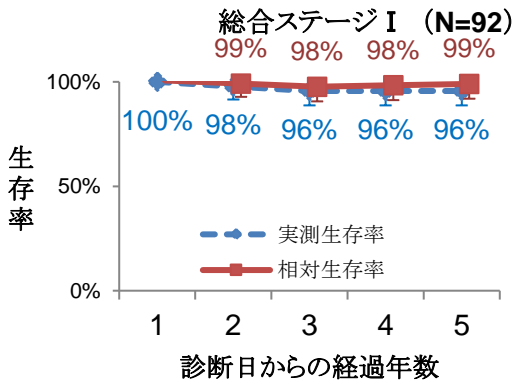
*予後判明率 99.0%

	N	実測生存率			相対生存率		
		95%信頼区間	95%信頼区間	95%信頼区間	95%信頼区間	95%信頼区間	95%信頼区間
	197	1			1		
1年	182	0.924	0.877	0.953	0.934	0.886	0.964
2年	163	0.832	0.772	0.878	0.850	0.789	0.896
3年	154	0.786	0.722	0.837	0.810	0.744	0.862
4年	148	0.761	0.695	0.814	0.790	0.722	0.846
5年	143	0.735	0.667	0.791	0.771	0.700	0.830



◆ 3-1 資料
院内がん登録
集計対象:
▶ 拠点のみ
▶ 2012-2013年診断
▶ 症例区分2,3のみ
▶ 100歳未満
▶ 総合ステージ
0期除く

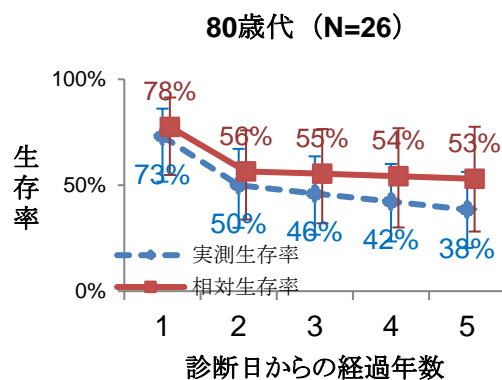
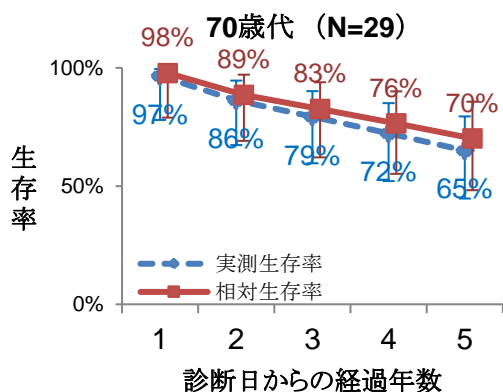
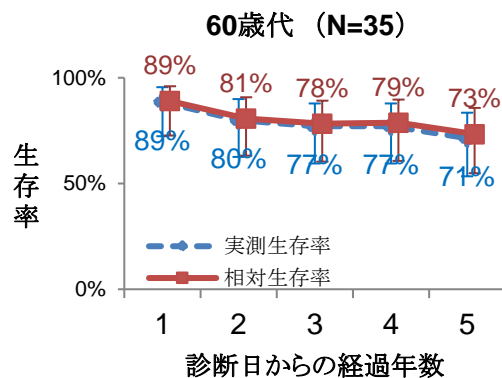
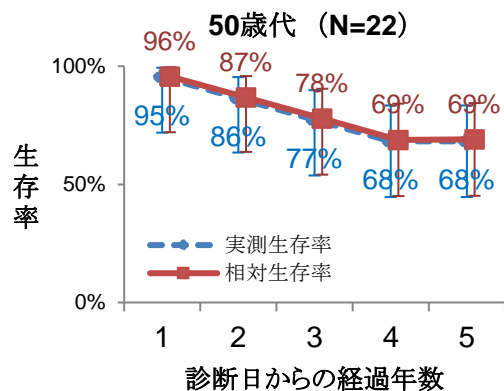
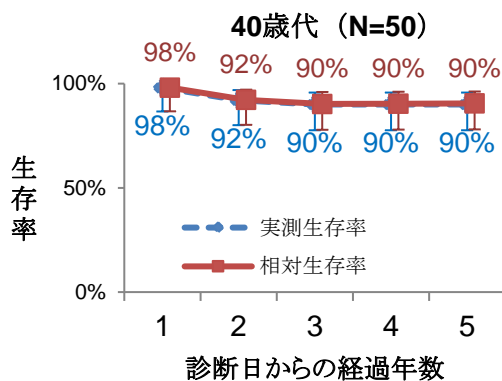
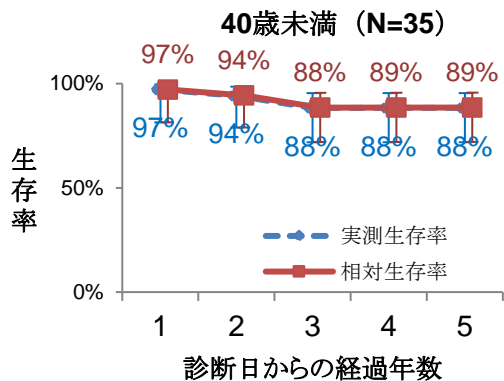
● 3-2 ステージ別 5年相対生存率 ●



◆ 3-2 資料
院内がん登録
集計対象:
▶ 拠点のみ
▶ 2012-2013年診断
▶ 症例区分2,3のみ
▶ 100歳未満
▶ 総合ステージ
0期除く
(付録資料:表k-1)

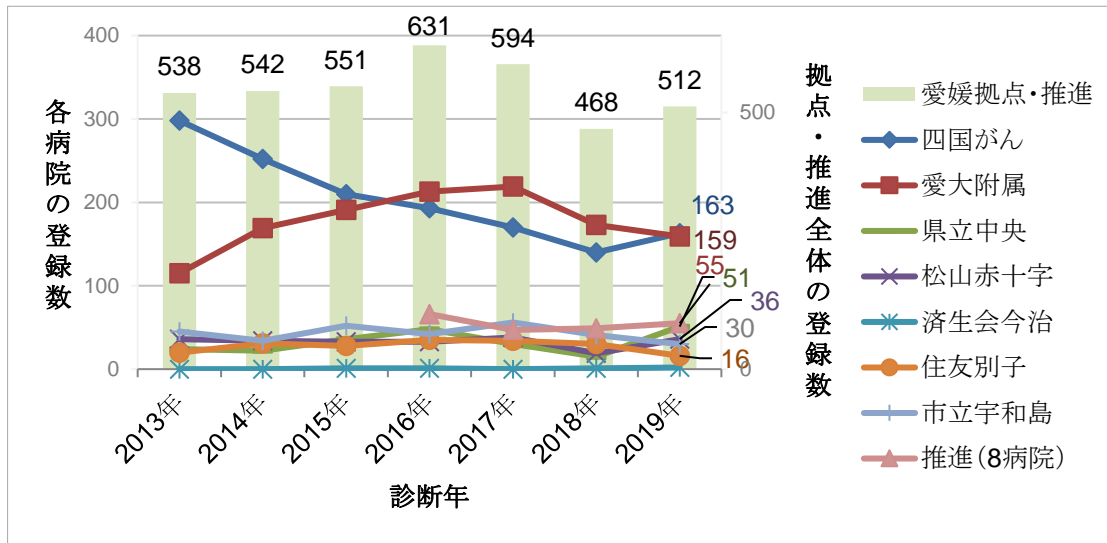
● 3-4 年齢群別 5年相対生存率 ●

◆ 3-4 資料
 院内がん登録
 集計対象:
 ▶拠点のみ
 ▶2012-2013年診断
 ▶症例区分2,3のみ
 ▶100歳未満
 ▶総合ステージ
 0期除く
 (付録資料:表k-3)



■ 4-1 登録件数の推移 ■

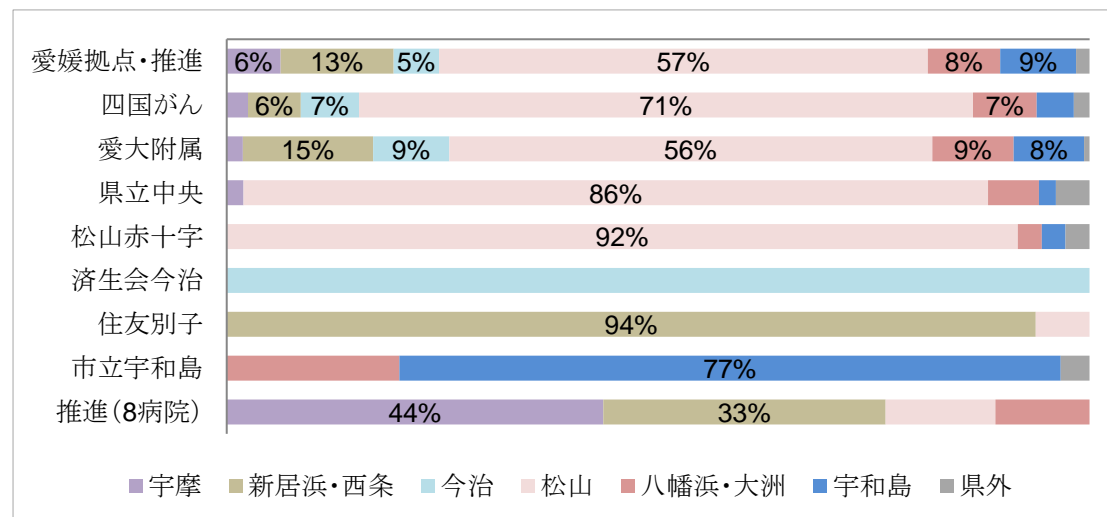
子宮頸がんの2019年診断症例の登録件数は、512件です。



◆ 4-1 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2013-2019年診断
▶症例区分8, 80除く
(付録資料:表A-13)

■ 4-2 診断時の住所(二次医療圏別) ■

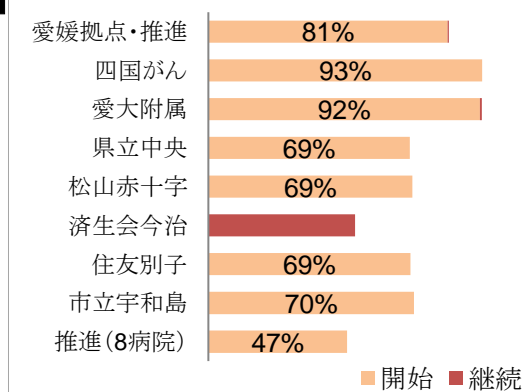
診断時の居住地の割合を示しています。拠点・推進病院全体では57%が松山圏域の患者です。四国がんと愛大附属では他医療圏からの患者割合が大きく、他の拠点病院では病院の所在する医療圏の患者の登録割合が大きいです。



◆ 4-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表I-11)

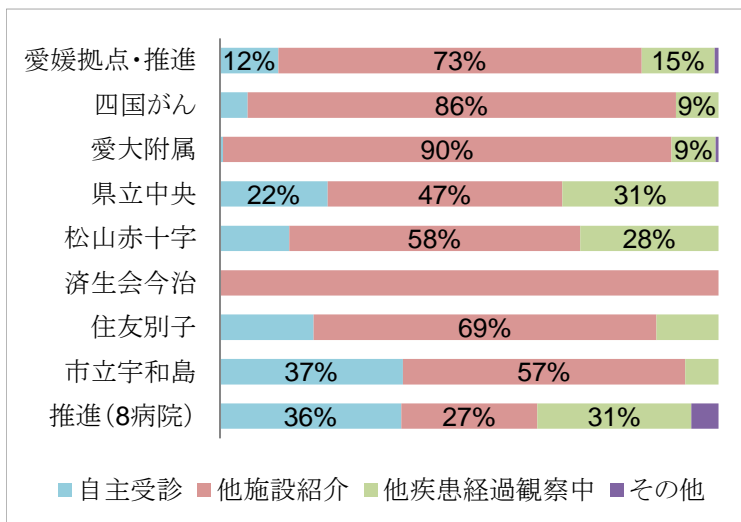
■ 4-3 治療(初回治療)を行った症例の割合 ■

新規の症例のうち81%がその病院で初回治療を開始しています。初回治療症例の割合は病院により差があり、治療症例の割合が低い施設では、診断のみを行った症例や再発治療目的でその病院をはじめて受診した症例が多いことを示しています。



◆ 4-3 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表K-11)

■ 4-4 来院経路 ■

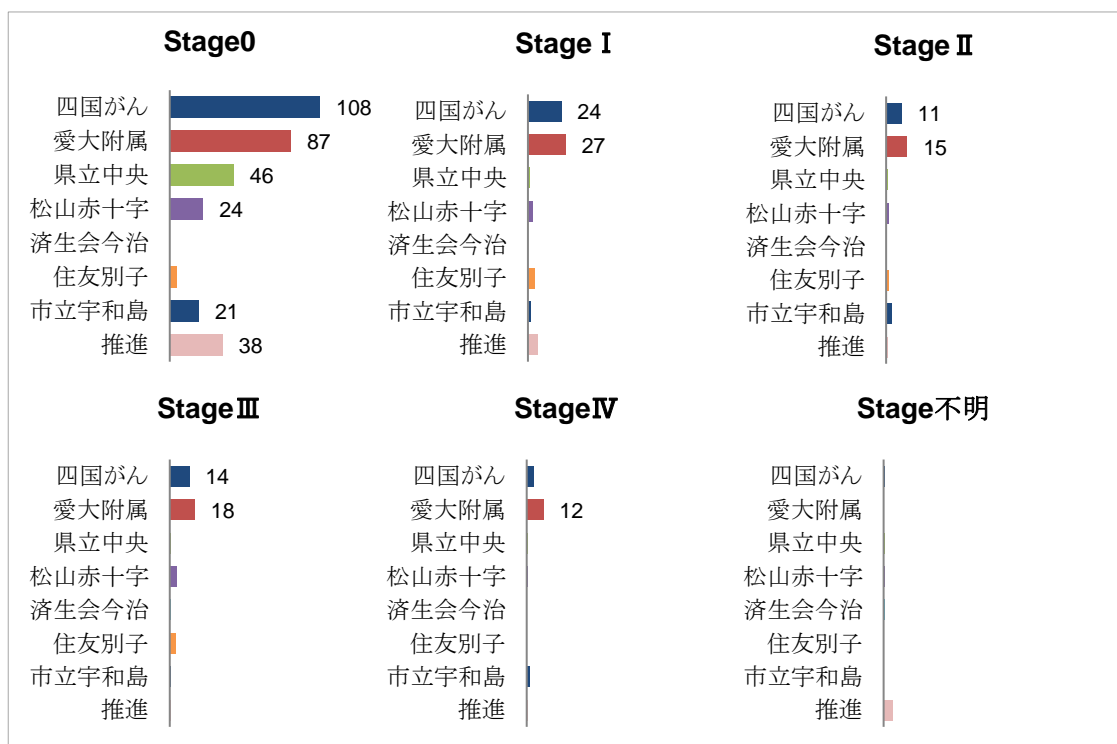


拠点・推進病院を受診した患者の73%が他施設からの紹介受診です。紹介なく、自主受診した割合は、病院により異なりますが、地域での役割や病院特性などを表していると考えられます。

◆ 4-4 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表L-11)

■ 4-5 病期別の件数 ■

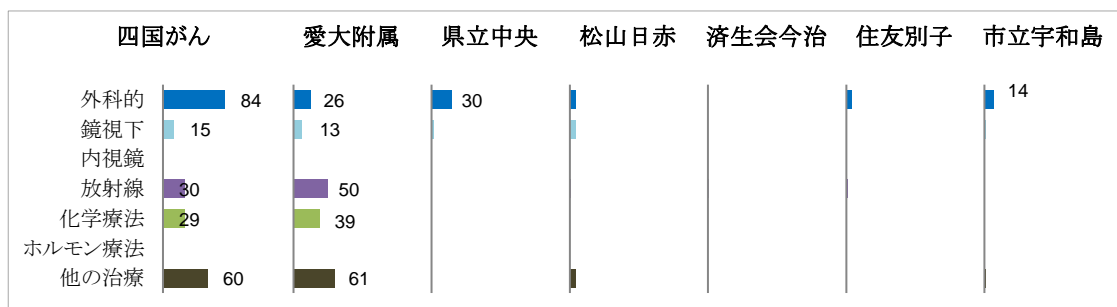
術後のステージも加味した総合ステージ別に、各病院の登録数を示しています。その病院では初回治療を行っていない症例も含まれています。



◆ 4-5 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表W-3)

■ 4-6 治療の件数 ■

各病院で行われた初回治療の件数です。

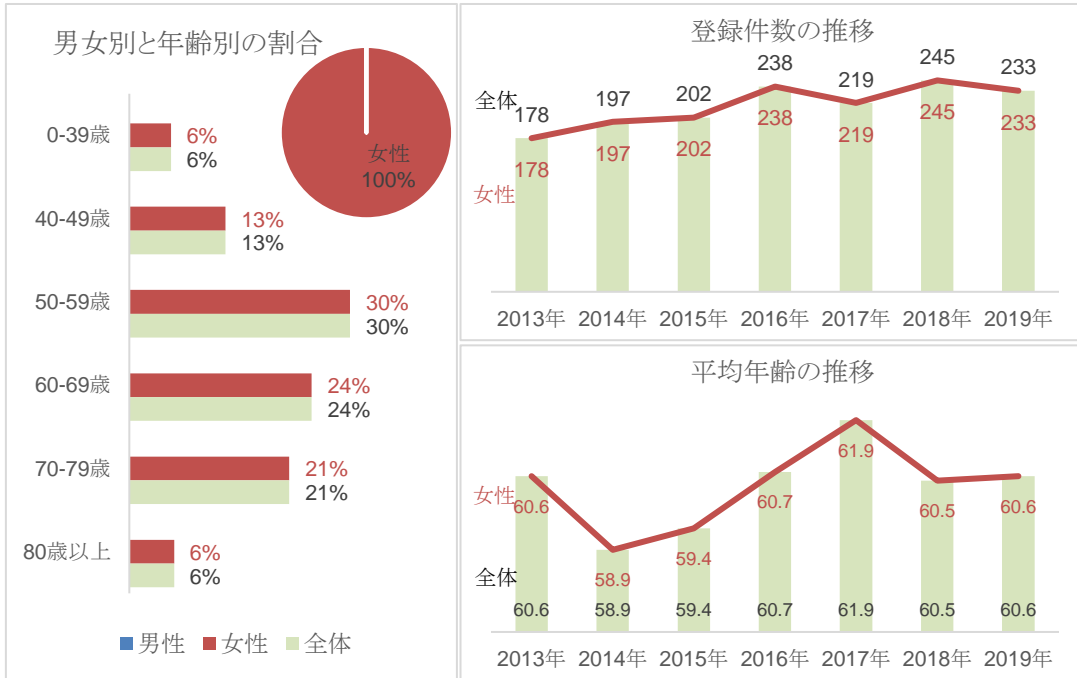


◆ 4-6 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表W-6)

1 診断

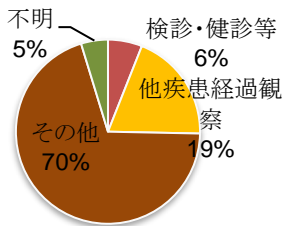
1-1 登録状況

診断時の平均年齢は、子宮頸癌に比べて高く60.6歳です。ホルモン環境に影響を受ける癌が占める割合が高いため、50歳代をピークに登録数は減少します。年々増加傾向にあり、Stage0期を除くと、子宮頸癌より多数登録されています。



◆ 1-1 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2013-2019年診断
▶症例区分8, 80除く
(付録資料:表A-14)
(付録資料:表B-12)
(付録資料:表C-12)
(付録資料:表D-12)

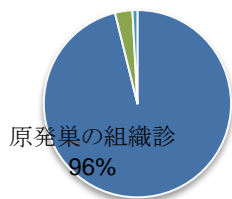
1-2 がんが発見される経緯



子宮体がんは、がん検診や健康診断などで発見される割合は少なく(6%)、自覚症状等で発見された場合を含む「その他」の割合が70%と最も多くなっています。

◆ 1-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表F-12)

1-3 診断



◆ 1-3 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表G-12)

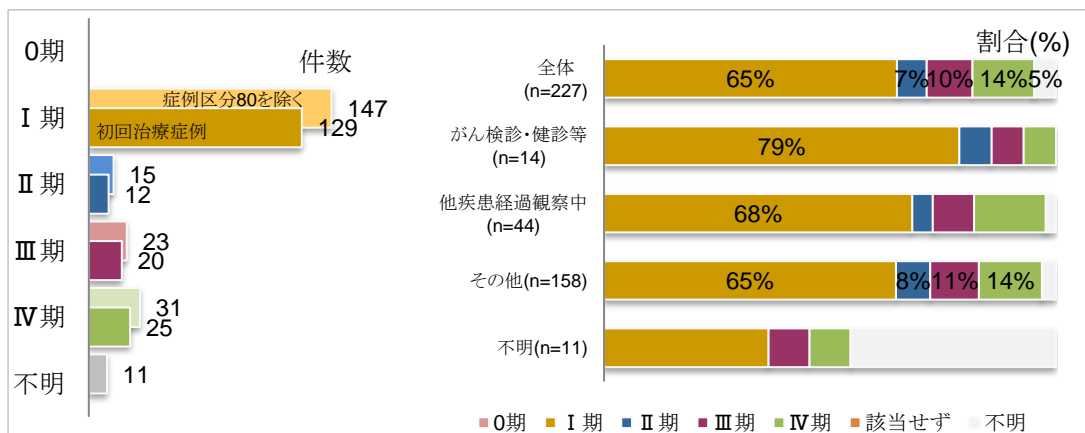
1-4 詳細部位

局在コード	部位名	登録数
C54.0	子宮峽部	0
C54.1	子宮内膜	147
C54.2	子宮筋層	0
C54.3	子宮底部	1~3
C54.8	体部境界部	0
C54.9	体部詳細不明	84

◆ 1-4 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く

● 1-5 病期(総合ステージ) ●

病期の評価対象である227件のうち、I期がもっとも多く65%を占めています。



◆ 1-5 資料
院内がん登録
総合ステージ別
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表X-3)
(付録資料:表X-4)
(付録資料:表H-12)

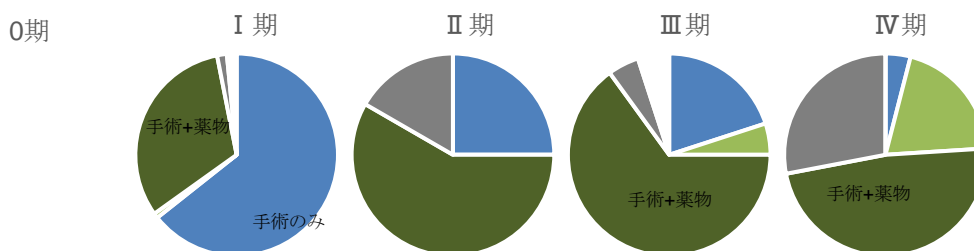
● 2 治療 ●

● 2-1 子宮体がんの治療 ●

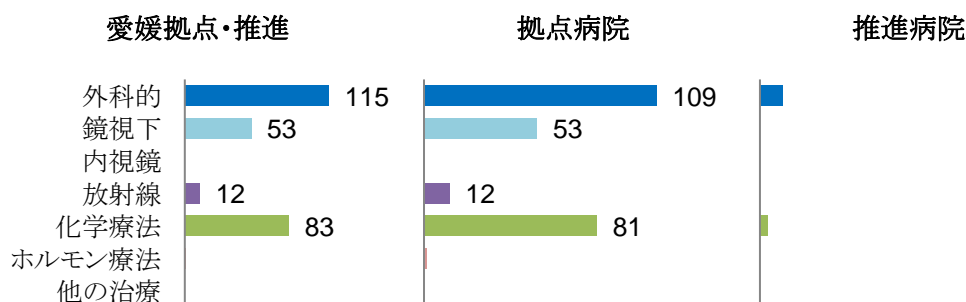
ステージ別の治療法は、I期では手術のみが64%と多く、II期からIV期では手術に加え、薬物療法を併用しています。

	stage I		stage II		stage III		stage IV	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
手術のみ	83	64% (70%)	1~3	(27%)	4~6	(15%)	1~3	(7%)
薬物療法のみ	1~3	(1%)	0	(1%)	1~3	(3%)	4~6	(25%)
手術+薬物	41	32% (25%)	7~9	(65%)	13	(73%)	12	48% (46%)
上記以外の組合せ	1~3	(2%)	1~3	(4%)	1~3	(5%)	7~9	(5%)
治療なし	1~3	(2%)	0	(2%)	1~3	(5%)	0	0% (18%)
合計	129		12		20		25	

◆ 2-1 資料
院内がん登録
総合ステージ別
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表X-5)



● 2-2 各治療の件数 ●



◆ 2-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表X-6)

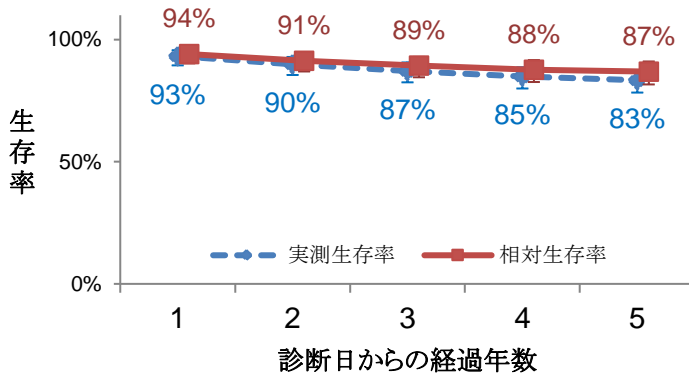
● 3 予後 ●

● 3-1 5年相対生存率 ●

2012年と2013年に診断された症例の5年生存率は、実測生存率83.4% (95%信頼区間 78.3 - 87.4)、相対生存率86.9% (95%信頼区間 81.7 - 91.1)でした。集計対象数は266、年齢は25歳～91歳で、50歳代30%、60歳代25%で半数以上を占めています。ステージ別の内訳は、I期が69%、II期7%、III期16%、IV期8%となっています。

*予後判明率 98.9%

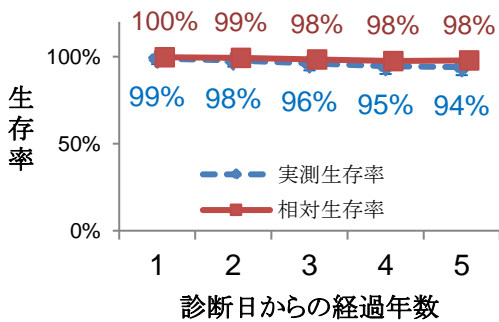
	N	実測生存率			相対生存率		
		95%信頼区間	95%信頼区間	95%信頼区間	95%信頼区間	95%信頼区間	
	266	1			1		
1年	248	0.932	0.895	0.957	0.941	0.903	0.966
2年	237	0.898	0.855	0.929	0.914	0.870	0.945
3年	230	0.872	0.825	0.907	0.894	0.846	0.929
4年	224	0.849	0.800	0.887	0.877	0.827	0.917
5年	219	0.834	0.783	0.874	0.869	0.817	0.911



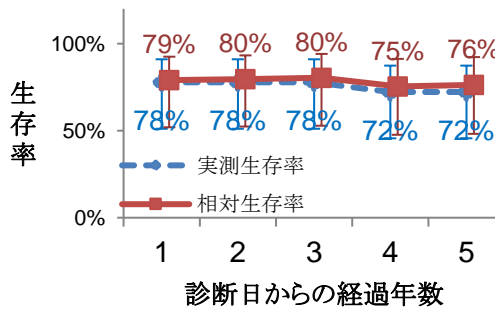
◆ 3-1 資料
院内がん登録
集計対象:
▶ 拠点のみ
▶ 2012-2013年診断
▶ 症例区分2,3のみ
▶ 100歳未満
▶ 総合ステージ
0期除く

● 3-2 ステージ別 5年相対生存率 ●

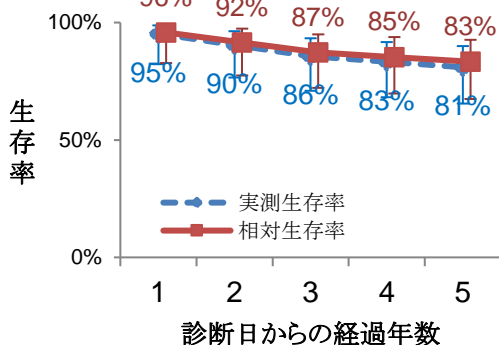
総合ステージ I (N=184)



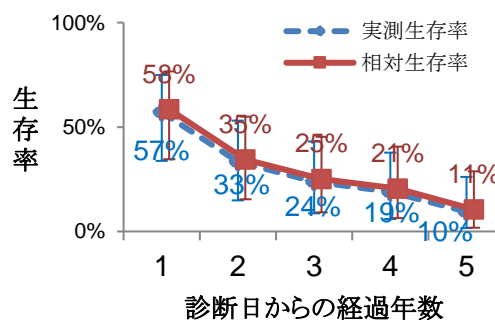
総合ステージ II (N=18)



総合ステージ III (N=42)



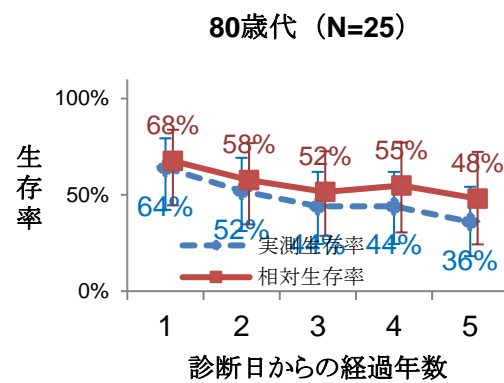
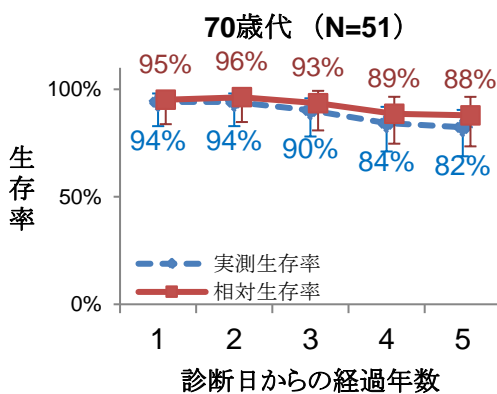
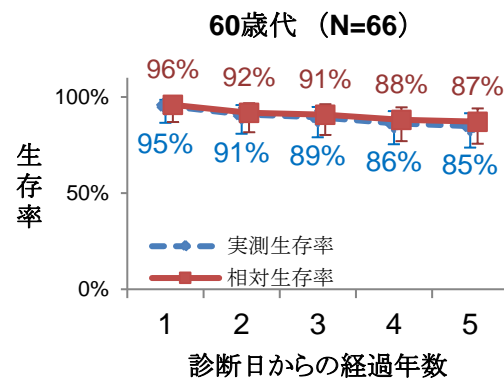
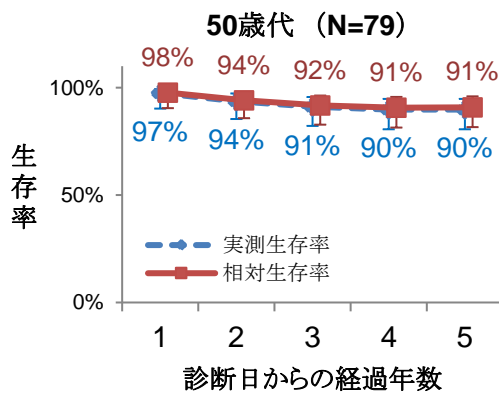
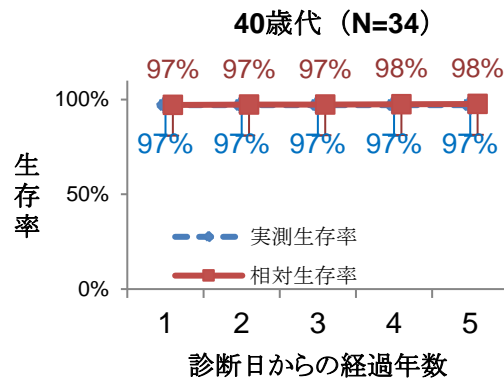
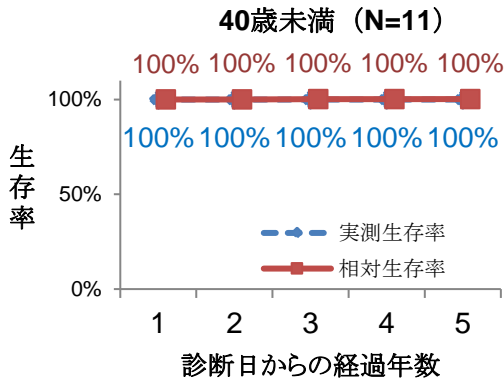
総合ステージ IV (N=21)



◆ 3-2 資料
院内がん登録
集計対象:
▶ 拠点のみ
▶ 2012-2013年診断
▶ 症例区分2,3のみ
▶ 100歳未満
▶ 総合ステージ
0期除く
(付録資料:表1-1)

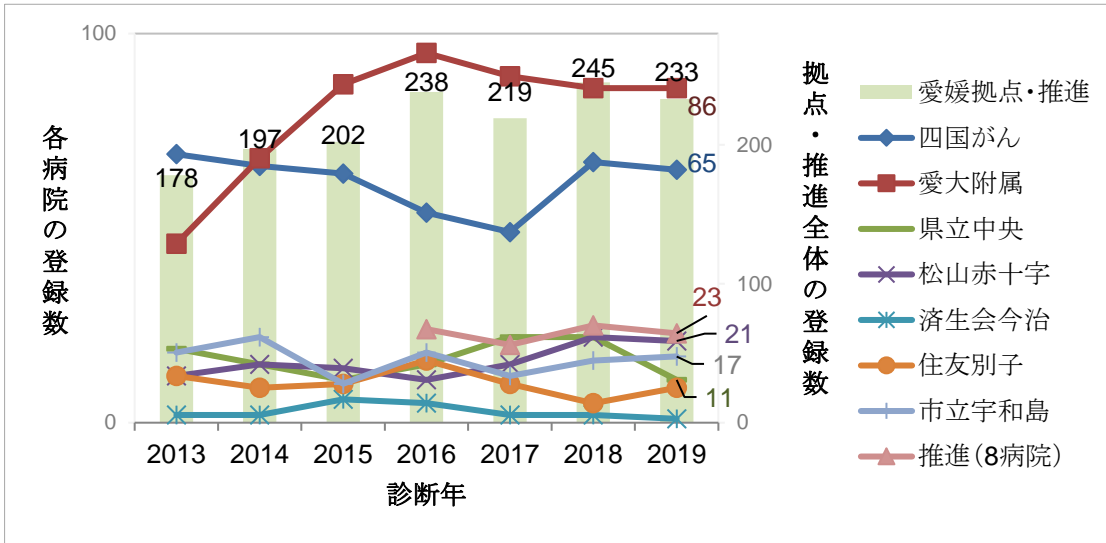
● 3-4 年齢群別 5年相対生存率 ●

◆ 3-4 資料
 院内がん登録
 集計対象:
 ▶ 拠点のみ
 ▶ 2012-2013年診断
 ▶ 症例区分2,3のみ
 ▶ 100歳未満
 ▶ 総合ステージ
 0期除く
 (付録資料:表1-3)



■ 4-1 登録件数の推移 ■

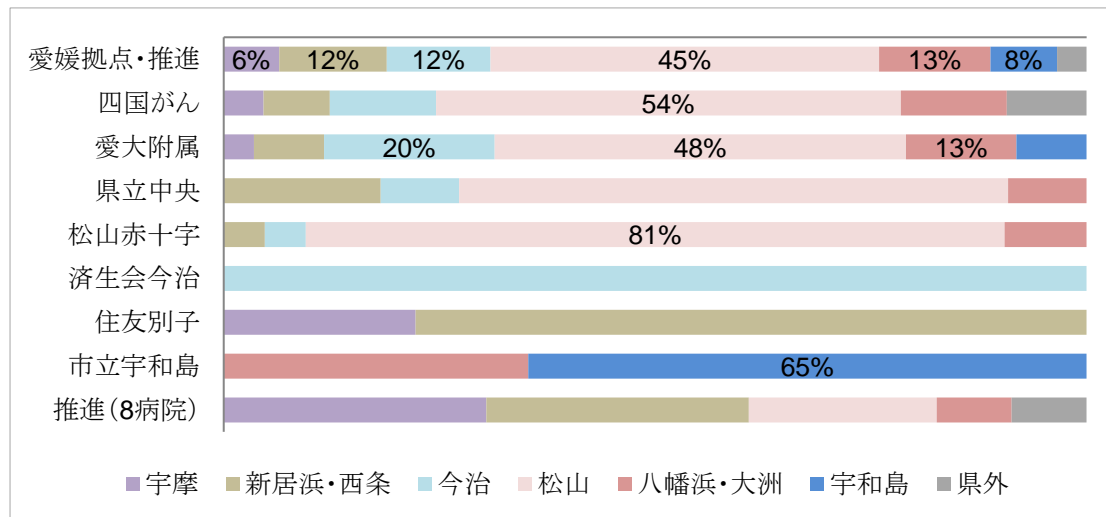
子宮体がんの2019年診断症例の登録件数は、233件です。2016年診断症例から推進病院の情報も加わっています。



◆ 4-1 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2013-2019年診断
▶症例区分8, 80除く
(付録資料:表A-14)

■ 4-2 診断時の住所(二次医療圏別) ■

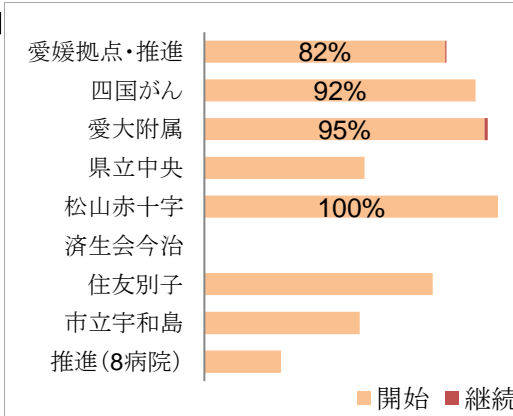
診断時の居住地域の割合を示しています。拠点・推進病院全体では45%が松山圏域の患者です。



◆ 4-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表I-12)

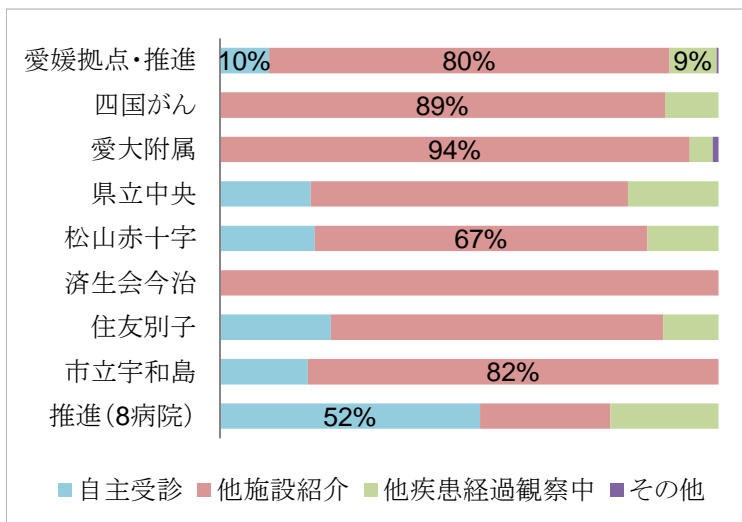
■ 4-3 治療(初回治療)を行った症例の割合 ■

新規の症例のうち82%がその病院で初回治療を受けています。初回治療開始症例の割合も82%です。初回治療症例の割合は病院により差があり、治療症例の割合が低い施設では、診断のみを行った症例や再発治療目的でその病院をはじめて受診した症例が多いことを示しています。



◆ 4-3 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表K-12)

■ 4-4 来院経路 ■

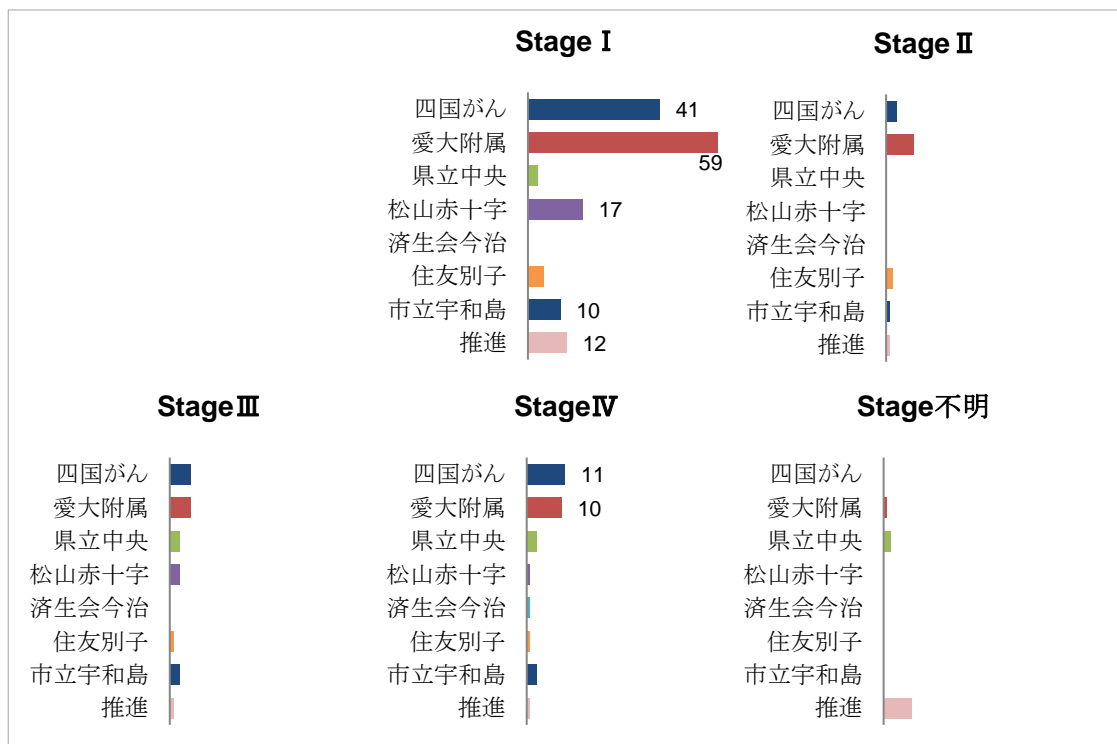


拠点・推進病院を受診した患者の80%が他施設からの紹介受診です。紹介なく、自主受診した割合は、病院により異なりますが、地域での役割や病院特性などを表していると考えられます。

◆ 4-4 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表L-12)

■ 4-5 病期別の件数 ■

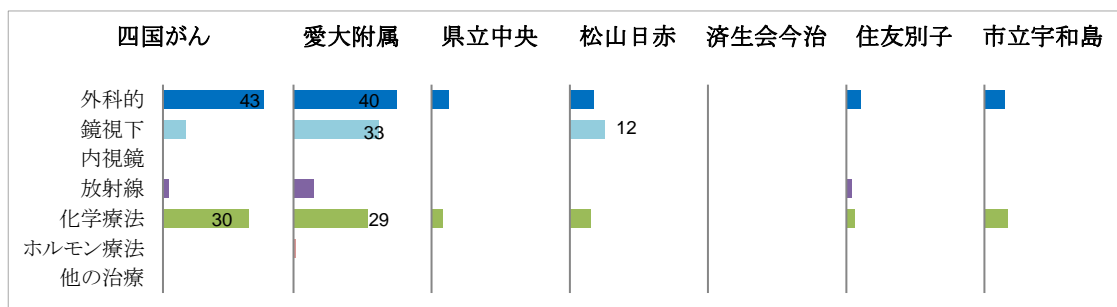
術後のステージも加味した総合ステージ別に、各病院の登録数を示しています。その病院では初回治療を行っていない症例も含まれています。そのため、ステージに関する十分な情報がない症例も含まれており、ステージ不明が一定数存在しています。



◆ 4-5 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表X-3)

■ 4-6 治療の件数 ■

各病院で行われた初回治療の件数です。



◆ 4-6 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表X-6)